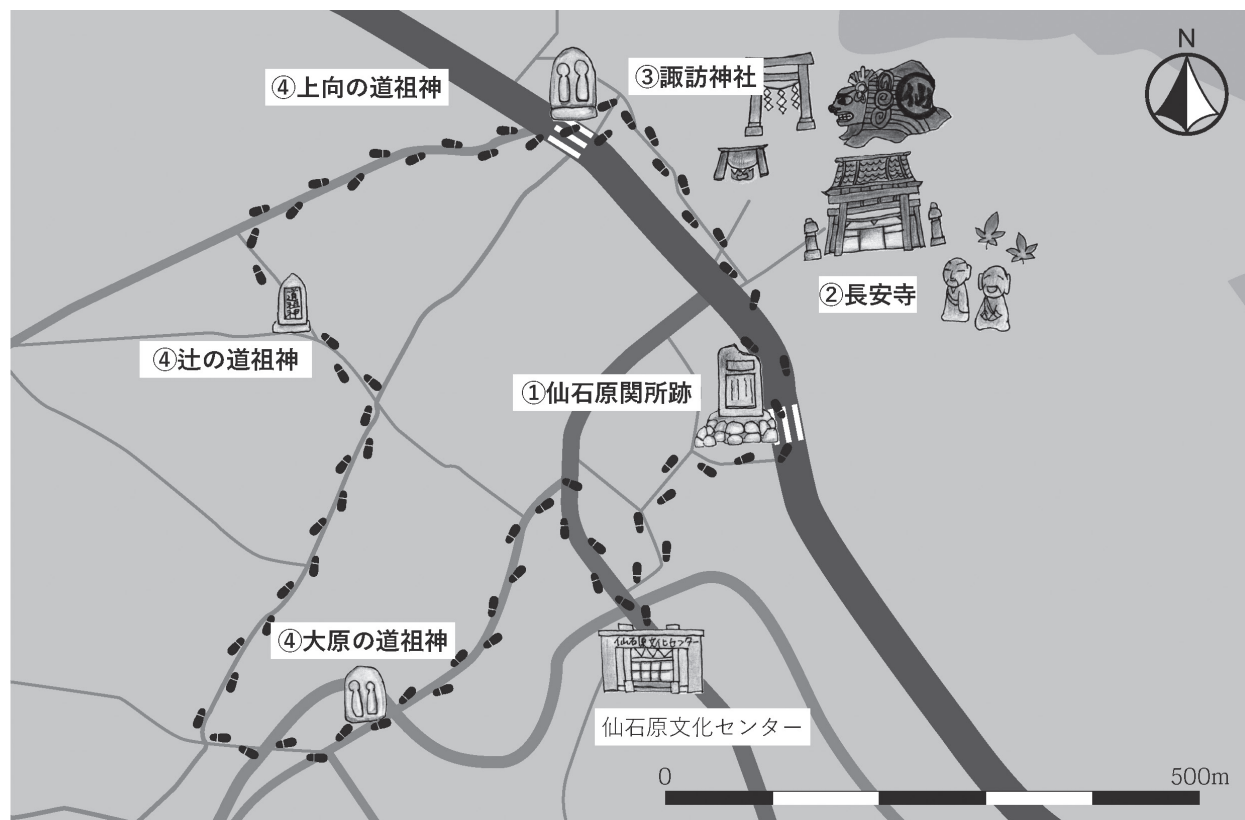


# 地域を知るウォーキングコース紹介

## 地域を知ろう! 歩こう!

新型コロナウイルスの影響で自宅にこもりがちになり運動不足になっていませんか。地域の歴史や文化も学べるウォーキングコースを紹介します。是非、歩いてみてください。  
※マスクの着用、消毒等の感染予防対策をしっかりと行って、密にならないようお気をつけてください。

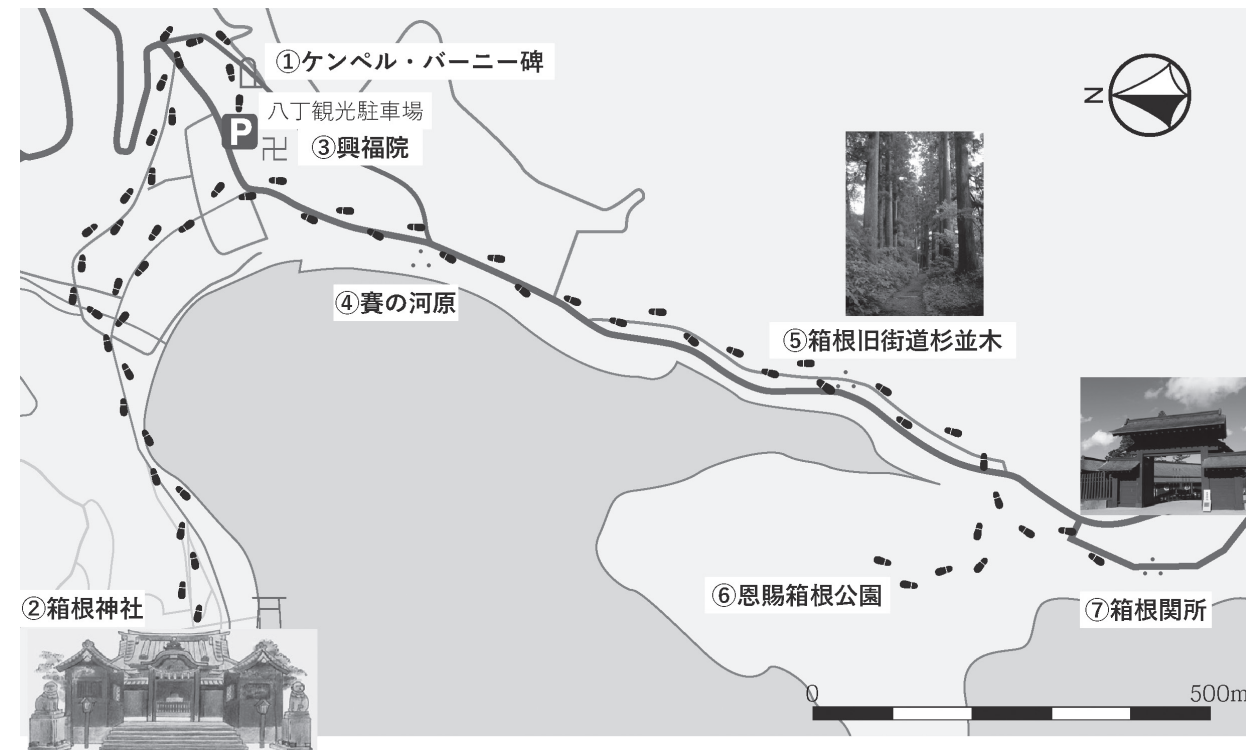
### 仙石原コース (約 2.7 km)



#### このコースの見どころ

- ①仙石原関所跡…芦ノ湖畔にある箱根関所を中心に、わき道を取り締まるために設けられた6か所の関所のうちの一つで、仙石原から乙女峠を越えて御厨（御殿場地方）に抜ける道を抑える関所として誕生しました。
- ②長安寺…古い歴史を持つ曹洞宗の寺院で、寛文10年（1670）の資料にはすでにその名が見られます。境内には数多くの石仏が祀られ、特に紅葉の時期には多くの方がお参りに訪れます。
- ③諏訪神社…仙石原の氏神様として祀られています。境内では毎年3月27日に、獅子が湯立神楽を舞うという全国的に見ても珍しい湯立獅子舞が奉納されます。
- ④各地の道祖神…厄神が集落に入るのを防ぐため集落の境に置かれたと考えられています。毎年1月14日の午後には、サイトヤキなどと呼ばれる道祖神をお祀りする行事が行われます。

### 元箱根コース (約 5.8 km)



#### このコースの見どころ

- ①ケンペル・バーニー碑…ケンペルは江戸時代に箱根を訪れたドイツの博物学者、バーニーは大正時代の貿易商です。杉並木の足元にバーニーが建立した石碑と、二人の顕彰碑が立っています。バーニーは、石碑にケンペルの著書の序文を引用し、天の恵みである箱根の自然の美しさを長く伝えてほしいというメッセージを込めています。
- ②箱根神社…天平宝字元年（757）に創建されたと伝わる大変歴史のある神社です。創建者である萬巻上人が箱根山で修業し、箱根の山々の神を感得して祀ったのが始まりです。江戸時代までは箱根権現と呼ばれていました。
- ③興福院…戦国時代に箱根権現の別当寺であった金剛王院東福寺の子院として開かれたと言われていいます。明治時代になり廃仏毀釈運動の際に、東福寺から打ち捨てられた寺宝のいくつかがこの寺に難を逃れ、現在でも大切に守り継がれています。
- ④賽の河原…箱根神社大鳥居の脇に石仏や石造が林立する一角があります。箱根は古くから地獄と呼ばれており、死者の霊を慰め、旅の安全を祈願するため、各地に石仏や石塔が造られました。
- ⑤箱根旧街道杉並木…江戸時代に東海道沿いに植えられた杉並木が遊歩道の両脇にそびえ立ち、江戸時代の旅の雰囲気を感じながら歩くことができます。
- ⑥恩賜箱根公園…明治19年（1886）に建設された箱根塔ヶ島離宮を前身とします。大正12年（1923）と昭和5年（1930）の相次ぐ大地震により大きな被害を受け、建物の規模が縮小され、戦後になり神奈川県に下賜され昭和21年（1946）、県立恩賜箱根公園として一般に公開されました。
- ⑦箱根関所…元和5年（1619）に、東海道の往來を監視することを目的として設置されました。江戸時代を通じて旅人たちに目を光らせていましたが、明治2年に廃止され、関所としての役割を終えました。現在の建物は、平成19年に江戸時代と同じ姿に復元したものです。